投資をまじめに、おもしろく。
MATSUI 松井証券

JP BANK ゆうちょ銀行

各　　位

2026 年 11 月 4 日

松井証券株式会社
株式会社ゆうちょ銀行

松井証券とゆうちょ銀行との資本業務提携について

松井証券株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長執行役員　和里田　聰、以下「松井証券」）と株式会社ゆうちょ銀行（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長　笠間　貴之、以下「ゆうちょ銀行」）は、本日、資本業務提携契約（以下「本資本業務提携」）を締結しましたので、お知らせいたします。

本資本業務提携に伴い、ゆうちょ銀行は、松井証券の主要株主である筆頭株主の有限会社丸六が保有する松井証券普通株式の一部を取得し（以下「本株式取得」）、松井証券の議決権の約 20%を保有する予定です。本株式取得の実行後、松井証券はゆうちょ銀行の持分法適用関連会社となる予定です。

1. 本資本業務提携の背景・目的

松井証券は、「お客様の豊かな人生をサポートする。」という企業理念のもと、ネット証券のパイオニアとして、個人投資家の様々なニーズを満たす金融商品・サービスの提供に努めてまいりました。近年では、投資に能動的に取り組む個人投資家にフォーカスしたブランディングにより、業界内で独自のポジションを確立するとともに、顧客基盤の拡大と新たな事業機会の創出を推進しております。

一方、ゆうちょ銀行は、2026 年 5 月に公表した中期経営計画（2026 年度～2028 年度）において、15 年後にありたい姿として、お客さまの多様なニーズに応え、人生に伴走する日本随一の「総合金融プラットフォーマー」と、国内外への投資を通じ、お客さまの資産価値向上とサステナブルな社会の実現を目指す「世界有数のマーケットプレイヤー」を掲げております。

その実現に向け、ゆうちょ銀行は、約 1.2 億口座という幅広い顧客基盤と、全国の郵便局ネットワーク、直営店及びデジタルチャネルを通じた多様なお客さまとの接点を活かしながら、お客さまの多様な資産形成・資産運用ニーズに幅広くお応えするため、金融商品・サービスラインアップの拡充を重要な戦略課題と位置付けております。また、本邦最大級の機関投資家として培ってきた運用ノウハウや国内外の運用者とのリレーション等を活かし、2026 年 4 月に発足したゆうちょアセットマネジメント株式会社（以下「JPAM」）を通じて、特色あるアセットマネジメントビジネスの展開を目指しております。

2026 年初頭、松井証券は主要株主である筆頭株主の創業家より、保有する松井証券普通株式の一部（発行済株式総数の約 20%）の売却について相談を受けました。松井証券はこれを契機に、今後の持続的な成長を見据えた戦略的パートナーの確保を検討してまいりました。パートナー選定にあたり、松井証券と創業家は、企業文化や独自のブランディングに基づく経営方針の維持と、事業戦略の継続性・発展性の実現を重要な基準と位置付けました。

こうした観点から検討を重ねた結果、ゆうちょ銀行は、①松井証券の経営戦略を深くご理解いただき、上場維持及び独立した経営を最大限尊重いただける点、②顧客基盤の拡大や商品・サービスの拡充に資する幅広い経営資源をお持ちである点から、中長期的なシナジーを共に創出できる最良の戦略的パートナーであると判断いたしました。

シナジーの実現可能性の協議では、松井証券が有する証券機能、商品・サービス、ノウハウ及び顧客基盤と、ゆうちょ銀行が有する幅広い顧客基盤及びリアル・デジタル双方の顧客接点を組み合わせることで、両社のお客様に新たな価値を提供できるとの認識で一致いたしました。また、投資経験豊富なお客様を中心とした松井証券の顧客基盤と、JPAM が今後開発を検討する特色ある資産運用商品との親和性も高いと考えており、松井証券を通じた JPAM の商品提供についても、今後両社で検討してまいります。

以上を踏まえ、両社は、本資本業務提携が、松井証券にとって独立した経営を維持しながら顧客基盤の拡大や商品・サービスの拡充を実現できるものであるとともに、ゆうちょ銀行にとっても金融商品・サービスの拡充及びアセットマネジメント事業の成長を通じた中長期ビジョンの実現につながり、双方の企業価値向上に資するとの結論に至りました。

2. 本資本業務提携の内容

両社は、本資本業務提携において、以下の各業務提携に取り組んでまいります。なお、業務提携の具体的な内容、方法その他の業務提携に関連する事項は、今後両社で協議及び検討してまいります。

（1）相互の顧客の送客

顧客基盤の相互活用により、松井証券及びゆうちょ銀行は相互の顧客の送客を目指します。

（2）キャンペーンの実施

松井証券及びゆうちょ銀行は、相互の得意分野及び経営資源を有効活用したキャンペーンを実施します。

（3）資産運用商品の販売

ゆうちょ銀行の子会社である JPAM が組成する資産運用商品を松井証券で販売します。

（4）IPO 銘柄の紹介

JPAM は、GP を務めるベンチャーキャピタルファンドの投資先に対し、引受証券会社（引受シンジケート団）の 1 社として松井証券を紹介します。

具体的なサービス内容や提供時期については、今後両社で協議・検討し、決定次第お知らせいたします。

松井証券とゆうちょ銀行は、本資本業務提携を通じ、中長期的なパートナーとして、相互の得意分野及び経営資源を有効活用した協業を推進し、両社のお客さまに新たな価値を提供するとともに、双方の持続的な企業価値向上を目指してまいります。

【松井証券の概要】

松井証券株式会社は、ネット証券のパイオニアとして、個人投資家向けに株式、投資信託、FX 等の幅広い金融商品・サービスを提供しています。

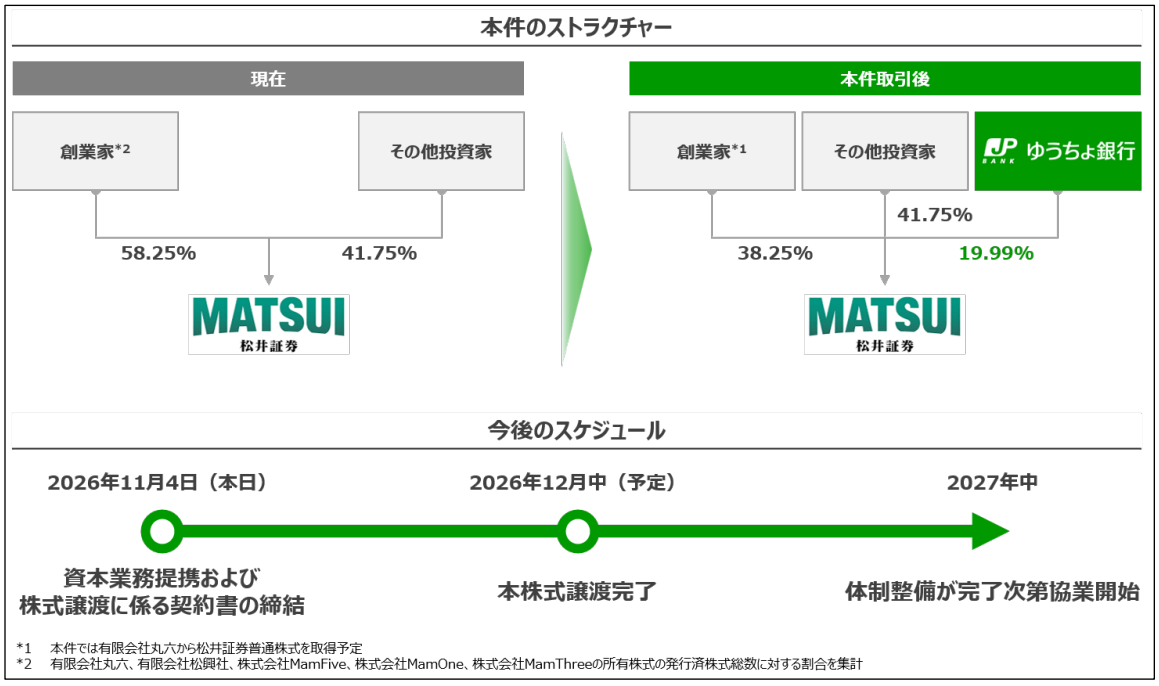
- 会社名：松井証券株式会社
- 代表者：代表取締役社長執行役員　和里田 聰
- 本社所在地：東京都千代田区麹町一丁目 4 番地
- URL：https://www.matsui.co.jp/

【ゆうちょ銀行の概要】

株式会社ゆうちょ銀行は、全国の郵便局ネットワーク、直営店及びデジタルチャネルを通じて、幅広いお客さまに金融サービスを提供しています。

- 会社名：株式会社ゆうちょ銀行
- 代表者：取締役兼代表執行役社長　笠間　貴之
- 本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 3 番 1 号
- URL：https://www.jp-bank.japanpost.jp/

【本件のストラクチャー等】



以上

問合せ先　　戦略企画部　広報担当　松井　　電話　03-5216-8692